

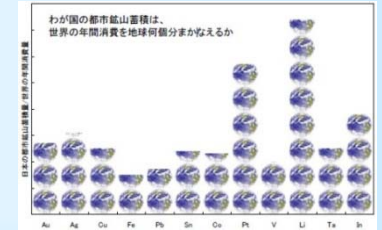
平成25年度予算案: 28.4億円+ 61.6億円の内数  
 (平成24年度補正予算案: 17.0億円)  
 (平成24年度当初予算: 1億円+14.6億円の内数)

## 【現状の課題】

- ・レアアース、レアメタル等の希少元素の供給を輸入に頼る我が国は、世界的な需要の急増や資源国の輸出管理政策により、深刻な供給不足に直面。  
 ↳ ハイブリッド自動車モーター用の高性能磁石、蓄電池、液晶ディスプレイなど先端産業の部材や、社会インフラを支える高強度材に不可欠。
- ・東日本大震災を契機として、円高の進行にレアアース等の調達制約も加わり、供給網(サプライチェーン)の中核を担う素材・部品分野等でも生産拠点を日本から海外に移転する動きが活発化しており、産業の空洞化・弱体化が進む恐れ。

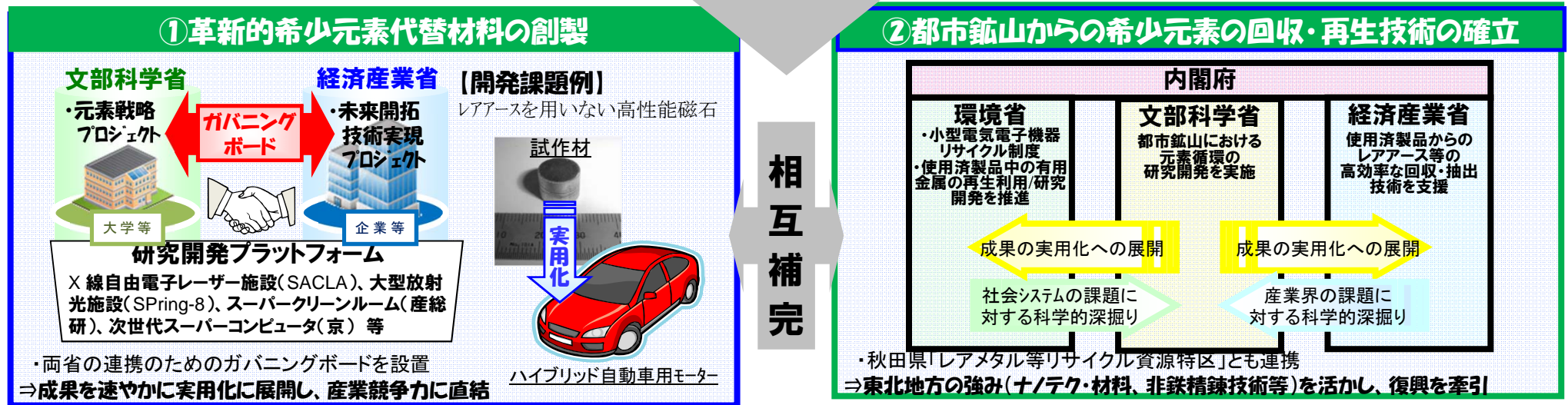
## 【将来ビジョン】

- ・産業競争力に直結する「磁石」、「触媒・電池」、「電子材料」、「構造材料」の各分野で革新的な希少元素代替材料を創製し、国際競争の激しい自動車、エネルギー、エレクトロニクス産業等での巻き返しを図るとともに、強靱な国造りを推進。
- ・我が国が保有する世界有数の「都市鉱山」(携帯電話等、使用済製品に含まれる有用金属を鉱石に見立てたもの)を最大限活用し、世界に先駆け、レアアース等回収・再生技術の確立と社会実装を行い、元素循環を実現。  
 ⇒ 「素材立国 日本」の再生。部素材技術を核とした、我が国の資源制約の克服と産業競争力の強化を同時に達成。

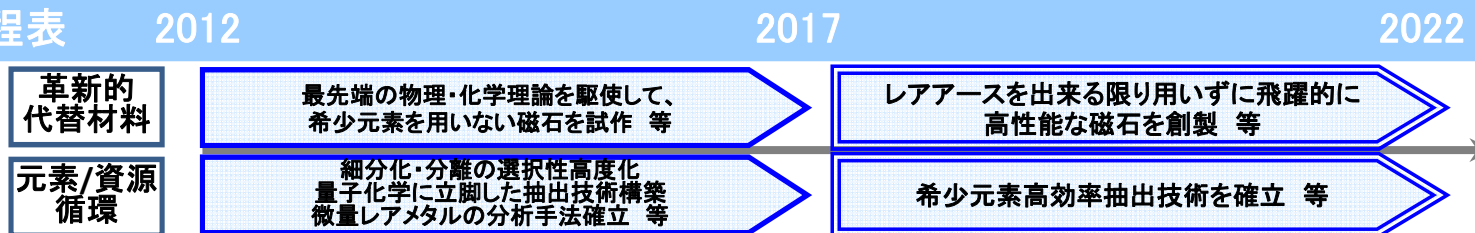


我が国の都市鉱山蓄積は、世界の年間消費量を我が国の都市鉱山との比較  
 (出典: 独立行政法人物質・材料研究機構)

## 政府一丸となって、希少元素の革新的な代替材料創製/循環技術を実現



## 工程表



「日本の強み」である部素材技術を核とした、産業競争力の強化  
 ・希少元素・資源に過度に依存した社会からの脱却